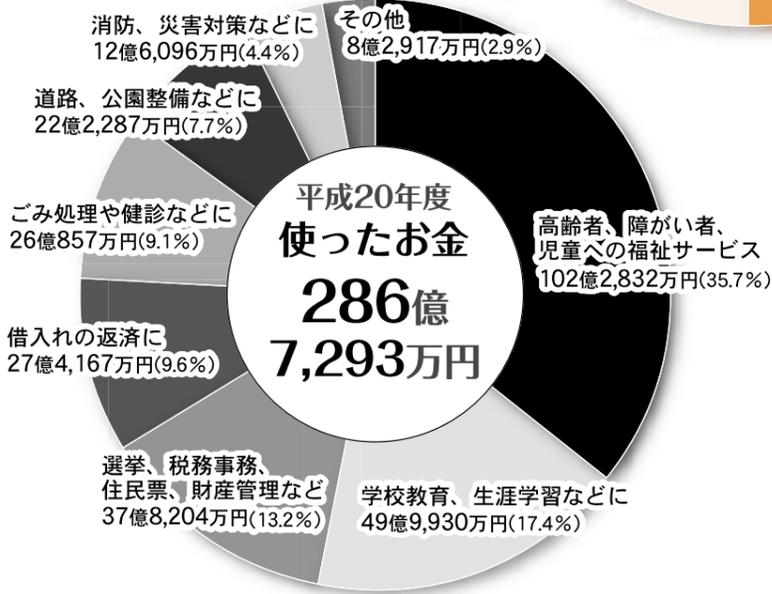
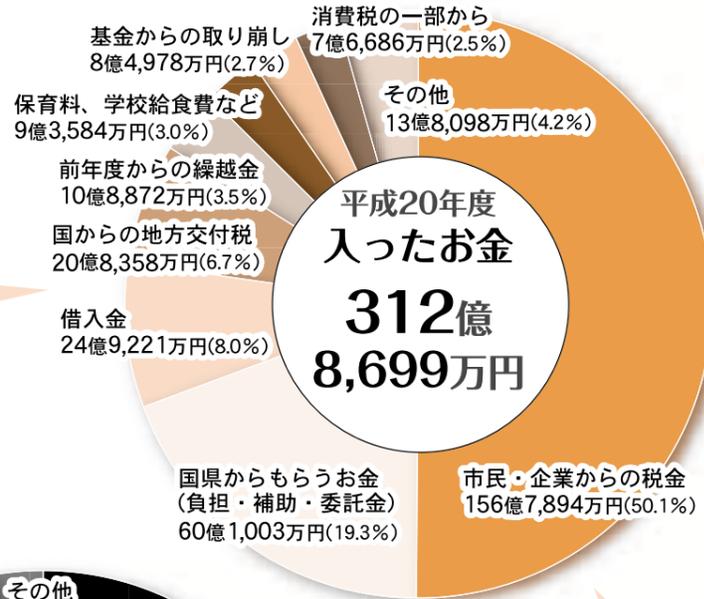


平成20年度
一般会計
決算認定

入ったお金の内訳は、
自主財源が61.5%、
依存財源が38.5%です。
自主財源の確保と強化
で、市の自主性が高めら
れるとされています。



入ったお金の中には、
年度末の定額
給付金 16 億円余
など、平成21年度
に使われるものが
含まれます。

※万円未満は切り捨てたため、
合計数値が一致しない場合があります



東台小学校で初めての運動会

平成21年
第3回定例会

9/1 ▶ 9/17

決算特別委員会

9/4・7

平成20年度の決算状況を見ると、
固定資産税や地方交付税による増収
はあるが、地方譲与税、各種交付金、
財産収入、繰入金、繰越金等は減収し
ている。

このような厳しい財政状況の中、
東台小学校の建設、「しののめの里」
の供用開始、後期高齢者医療制度の
開始、福岡中央公園の拡張整備など
の事業が進められた。合併後の住民
サービスの平準化や、高齢化の進展
に伴う社会保障費の増加に対応する
予算執行を審査した。

投下資本を検証 身の丈に合った予算規模に

平成20年度 一般会計決算 討論

賛成
正翔会
新しいまちづくりの対応を図った
点を評価する

財政の硬直化は深刻で、収納体制の充実・強化
以外に、新たな自主財源確保に努めるべきである。
また、職員の事務負担が増えて複雑化しているの
で、研修の充実を図るべきである。広域ごみ処理
施設建設のスケジュール管理は、個人ではなく、
実績がある法人及び企業との契約が望ましいと考
える。以上の点を指摘し、東台小学校開校、福岡
中央公園拡張工事等の事業を進めて、新しいまち
づくりの対応を図った点を評価して賛成とする。

賛成
公明党
事業仕分けを行ない、事務事業の
見直しが急務

自主財源が、前年度と比較し五・一%減少して
いる。厳しい経済状況の中で、市税等の増収も難
しい状況にある。市税・保育料・給食費等の未納
に対し、担税力を調査し不納欠損にしない取り組
みをさらに期待する。経済不況の中、仕事をした
い母親は増加しており、待機児童の解消や学校施
設の安全性と合わせ、次世代を担う子どもたちの
環境整備と高齢化社会への取り組みは重要課題と
考える。当市でも事業仕分けを行ない、事務事業
の見直しが急務。

反対
日本共産党
国の悪政から市民の暮らしを守る
施策展開がない

所得が減少する中で、医療費や社会保障費の自
己負担が増加している。保育料や国保税の値上げ、
新たな後期高齢者医療制度の負担が市民生活をさ
らに圧迫している。プール事故の教訓から危機管
理が指摘されているが、職員研修など全庁的な取
り組みが弱い。市民への約束である循環バスの実
施が進まず、新プール建設も計画倒れになってい
る。雇用対策、地域経済活性化対策、市民サービ
スの向上のための施策がない決算である。

賛成
自民クラブ
メリハリのある次年度予算編成を
要望

平成二十年決算の経常収支比率は、前年度よ
り一・七%改善されているが、依然として九五四
%と高い数値で、今後は財政の弾力性を持たせる
ことが必要である。また、滞納繰越分の徴収率が
改善され、不納欠損額の件数、額が減少している
が、市税徴収率全体ではやや低下している。今後
さらなる徴収努力が必要である。以上指摘した点
を踏まえて、景気が低迷中で、少子高齢化が進ん
でいる中、メリハリのある次年度予算編成を要望
して賛成とする。